

2010年度（社）札幌青年会議所

第11回理事会

日時：2010年11月25日（木）

18:30～20:35

場所：札幌第一ホテル

議 事 録

1. 開会 岡澤専務理事
2. JCIクリード唱和 松井理事
3. JCI宣言朗読並びに綱領唱和 小林理事
4. 出席者の確認 大越委員長
理事長／玉腰勇吉
副理事長／小澤輝真・白戸君央・北嶋仁
専務理事／岡澤邦幸
監事／荒木健介・鈴木博昭
常務理事／白井晴彦
常任理事／齊藤康二・高橋昭典
理事／伊澤祐輔・熱田直樹・齊藤大輔・松井勝史・荒木康充・小林万記・岸田卓也
オブザーバー／川口淳・田崎秀明・東岳夫・太田富士栄・千葉直哉・竹原慎雅・林将告・大越誠之
欠席者／佐々木和宏・池崎潤・小田切英樹・田中良弘・石田浩士
5. 議事並びに資料の確認 岡澤専務理事
6. 議事録署名人及び作成者の指名 玉腰理事長
議事録署名人／熱田直樹・齊藤大輔
議事録作成者／総務運営委員会
7. 理事長挨拶
玉腰理事長

皆さん、こんばんは。本日もお忙しい中、第11回理事会にご参加いただきましたことを心から御礼申し上げます。誠にありがとうございます。次第を見ていただければ解る通り、もう全てと言っていいほど、報告上程になっております。総会、アワードバンケットならびに新入会員歓迎例会、そしてOB予定者を送るタベ以外は、ほとんどの皆さんが事業を終えられていると思います。そんな中で、事務局長、委員長の皆さんは、何を思い、日々、どのような運動をしていますか。理事者の皆さんも同じだと思います。決して、全ての事業が終わった訳ではありません。あくまでもスタートラインに着いたのだという気

持ちでいて貰いたいと思います。その行った事業の先に何があるのか、それを思って、その事業を行ったのだと思います。その事業がこれからどのように広がっていくのか、必ずや花開かせるのだという気持ちを持って、次年度以降引き継いでいただきたいし、また、その大切な運動の資料を形にして残していただきたい。これが一年の成果であります。その辺を肝に銘じ、終わったのではない、始まったばかりなのだという気持ちを持って、12月31日までの僅かな日々を、委員会メンバーと一丸となって素晴らしい報告をしていただきたいと思います。そして本日は、いよいよ、我々が待ちに待った新入会員予定者の最終的な名簿が上がってくる日でございます。本日の理事会での承認をもって、我々の仲間が決定するという大切な理事会でもあります。いかがでしょうか。思っただけの人数を、札幌青年会議所へ導くことが出来ましたでしょうか。私は、皆さんに10名やるという誓いを立てて、何とか目標の10名をやらせていただくことができました。これは、決して私がやった数字ではないのです。皆さんの支えがあって、いろんな所で先輩にお願いする際にも、いろんなメンバーから聞いています、頑張っていますね、俺も協力するからとお言葉があり、皆様の励ましがあって、初めて成しえたのかと思っております。決して、委員会で掲げた数字に届かなかったからといって、恥じることはないと思います。そして、来年以降、どのようにすれば新入会員を獲得することが出来るのかといくことを伝えていただきたいし、何よりも、我々が今年一年かいた汗は嘘を付きません。もし、恥じるとするのであれば、もっと出来たのではないかと思った瞬間です。そこで恥じていただきたいと思います。私も、もっとできたのではないかと思っております。そして、その思い、恥ずかしいという気持ちがなくなった時、人間は成長が止まるのではないかと思います。100%とは、何を持って100%というのでしょうか。私は、今年一年100%燃え尽きたという人間がいるのであれば、その人間の成長はないし、もっと高みを目指し、青年らしく汗をかく、これが青年会議所のもっとも素晴らしいところだと私は思っておりますし、来年以降も、皆さんがその100%を目指し、どこまで汗をかくことができるか、その結晶が、また来年、おそらく11月前後になると思います。新入会員の数字という形で出てくることを私は楽しみにしております。決して本日をもって会員拡大が終わったのではなく、本日をもって、新たに次のステージへ移行するそんな日でございます。それを皆さんには忘れていただきたくない、私が卒業するまで、精いっぱい背中を見せていければと思っております。本日一日、どうぞよろしくお願いいたします。

8. 直前理事長挨拶

佐々木直前理事長

公務のため欠席。

9. 議長の選出

定款に基づき、玉腰理事長。

10. 前回議事録の承認

玉腰理事長

何かございましたら、本理事会終了までに総務運営委員会にお申し付けください。無き場合は、理事会終了をもって承認とさせていただきます。

1 1. 審議事項

(1) 2010年度(社)札幌青年会議所 2011年度(社)札幌青年会議所 会計・上 程セミナーならびに正副委員長予定者セミナー開催報告(案)の件

大越専務理事予定者

資料に基づき説明。

【決算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

伊澤理事

理事長との話の時間が多いとか少ないとかが反省点として出てきたという事なのですが、具体的にそれは、理事長とどういった話をして貰いたいが為にとった時間なののでしょうか。

大越専務理事予定者

やはり、理事長予定者がどのような考えを持っているかという部分を、各事務局長、委員長の皆様に出来るだけ多くの時間を割いてお伝えいただくという事が目的でございました。当然、理事長所信を読み解く中でのお話なのですが、そういった形の中で、やはり平均的に同じような時間であれば問題は無かったと思います。しかし5分お話しするという事もあれば、1、2分で終わってしまうということもありましたので、その部分でこのような記載をさせていただきました。

伊澤理事

長くて5分、短くて1分というお話でしたが、そういった時間で、果たして当初の目的は達成されたのでしょうか。

大越専務理事予定者

初期の目的といいますか、目的達成と言わないまでも、目的に近づくことが出来ると考えまして、目的の実現のためにセミナーを開催させていただき、この4部の部分にあてさせていただいたということです。

伊澤理事

懇親会の部分でそういう時間を設けていただくのは有り難いのですが、そのためにやるセミナーではないですね。それをわざわざ反省点ということで書く必要があるのかと、私は考えております。もし、そのような気持ちがあって、理事長と次年度委員長の皆さん、スタッフの皆さんと、しっかり話し合う機会、時間が必要だと考えるのであれば、きっちりとした形で、それだけ独立させなければならぬのではないのでしょうか。気持ちを通わす、相手を理解するというのは、そこに費やす時間が非常に大きなウェイトを占めると思います。たかだか5分で心を通わせるというのは非常に困難なことだと思いますので、あまりそこまで、反省点だとわざわざ書く必要は無いと私は感じます。

大越専務理事予定者

次年度にはまたこういった正副セミナーというものが開催されるでしょうから、こういった部分を考えて設営していただければより良いセミナーが開催されるようになると考えて、こういった記載を残させていただきます。いかがでしょうか。

伊澤理事

それならば、そういう場を改めて作った方が良いという記載を、引継ぎ事項に書くべきであって、沢山の目的をこういったセミナーに盛り込むのは、逆効果ではないでしょうか。おっしゃる意味は解ります。しかし、本当の意味で効果を出すような設えにするのであれば、別にそういった機会を設けるという記載の方が適切ではないでしょうか。

大越専務理事予定者

記載方法について、少し間違っている部分があったかと思いますので、この案件につきましては後ほど訂正させていただいて審議を取らせていただくという形でよろしいでしょうか。

玉腰理事長

今、口頭で訂正出来るのであれば訂正していただいて、審議を取らせていただきたいと思います。出来ますか。出来るのであれば、訂正をお願いします。

大越専務理事予定者

12(1)につきまして、削除させていただきたく存じます。13番につきましては、懇親会で十分な時間が取れない場合には、理事長・委員長の間において更なる懇親の場を取る必要があると考え、更なる時間を設けるべきではないかと考えます、と記載させていただいてよろしいでしょうか。

伊澤理事

結構です。

【採決】

満場一致で可決。

(2) 2010年度(社)札幌青年会議所 十月「60周年ビジョン創造」例会開催報告(案)の件

小澤副理事長

上程に先立ちまして、委員長より御礼の言葉を述べさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

林委員長

貴重なお時間をいただきまして有難うございます。去る10月16日、60周年ビジョン創造例会を札幌市円山動物園にて、快晴の中、多くのメンバーにお集まりいただきまして、誠に有難うございました。前日まで天候が不安でありましたが、無事開催出来ましたこと、皆様のお陰だということで、感謝申し上げます。また、当日、対外例会ということで理事長をはじめ皆様にご協力いただきながら、何とか本来の目的であります札幌青年会議所の60周年に向けた発信を、しっかり出来たのではないかと思います。また、その中でも多くの反省点がございましたので、しっかりと次年度以降の運動に繋げて参りたいと存じます。有難うございました。

小澤副理事長

資料に基づき説明。

【意見・対応】

なし。

【採決】

満場一致で可決。

(3) 2010年度(社)札幌青年会議所 十月「ブルーアース基金助成金授与式」開催報告(案)の件

齊藤室長

資料に基づき説明。

【決算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。通信費と消耗品費に関しまして、消耗品費、こちらはゼロの記載となっております、減額となっております。

【意見・対応】

小林理事

13(3)、代理の方がお越しになったということですが、ご本人が来られました。

齊藤室長

予定していた名前の方と違ったということでございましたので、そのように修正させていただきます、報告の審議とさせていただきますとよろしいでしょうか。

玉腰理事長

他によろしいでしょうか。

熱田理事

写真について、1ページにつき6枚と決まり事をしっかりしてください。せっかく足を運んで授与式をすと言っておきながら、私も持って行ったところがあるのですが、担当者の記載が殆ど無くて、学校だけ校長先生の名前があるのでしょうか、チラシの配付先に担当者が無いので、もし行っているなら記載した方がいいと思います。

齊藤室長

写真につきましては修正いたします。こちらに記載することはせず、次年度の委員会に引き継ぐ資料にしっかりと担当者の記載をして行きたいと思います。

荒木副議長

ブースに関して、やはり参加団体にも周知がなされていなかったのか、ブースに誰も居ないという時間があったのではないかと思います。場所も去年のファクトリーのような所ではなく、物理的な事も多々あったと思いますが、そういう部分が徹底されていなかったと思うのと、またそのブースが何をしているのかが、市民の目から見れば、何のテントだったのかというのが解りにくかったと思います。ブースに旗を立てるとか、そういったことが必要だったと思います。ブース団体からの出展された感想はどうだったのでしょうか。

齊藤室長

基本的には大きな感想が無いというのが実情です。前段の部分ですが、去年から委員会は良かれと思ってブースを設置したということが2年続きました。実際の所、利用者がいるかという事と、先ほどおっしゃったように、この場所が何をしている所なのかという告知をしっかりと行うという点については、次年度以降引き継がなければならないと思いますが、今後におきましては本年度、来年への引継ぎ事項として、ブースの設置自体をもう一度考えなければならないのでは、と、検討事項を残したいと思います。

荒木副議長

今答弁にもあったように、やはり、やればいいというものでもないと思います。場所に応じたやりかたというものを検討していかなければならないと思います。予算の効果を見極める所までは難しいかも知れませんが、それにも予算がかかっておりますので、慎重に考えて行かなければならないと思います。

【採決】

満場一致で可決。

(4) 2010年度(社)札幌青年会議所 2010年度ブルーアース基金助成金給付に関する事業報告(案)の件

齊藤室長

資料に基づき説明。

【決算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

齊藤理事

締め切りまで申請団体の数が少なかったということで、終了間際に駆け込みのような形で増えていったということになっておりますが、原因は何だったのでしょうか。告知不足だったのか、審査方法が難しく煩わしくて出せなかったのか、その辺いかがでしょうか。

齊藤室長

理由を申請団体に聞くことは正直難しいのですが、申請書類を書くにあたって、例年ギリギリという現状であるということは考えられます。こちらから早く出してくれとお願い出来る訳でもありませんので、例えば締め切りを早めに設定するなど、工夫を今後考えていく必要があるかと思います。

【採決】

満場一致で可決。

(5) 2010年度(社)札幌青年会議所 姉妹JC交流・東大邱青年会議所創立40周年記念式典公式訪問(案)の件

高橋室長

資料に基づき説明。

【予算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額ともの適正に処理されております。

【意見・対応】

荒木副議長

訪韓に関して、何もなければ良いのですが、何かあった際にはどういう対応を取るのでしょうか。おそらく、今私が認知している限りでは、28日あたりから韓国の合同演習が始まるという中で、行く、行かないは別として、その辺りも注視して行かなければならないと思います。40周年という事なので、それに参加するという事は大いに結構なのですが、行くメンバーの事もありますので、その辺は随時考えて行った方がいいと思います。また40周年に関して、札幌の地で行うという事になっていると思いますので、その辺も随時詰めて行った方が良いでしょう。

【採決】

満場一致で可決。

(6) 2010年度 社団法人札幌青年会議所 除名者(案)の件

岡澤専務理事

大変残念な案件でございますが、除名者(案)の件を上程させていただきます。先ほどまで電話連絡を取っておりましたが、電話に出ず、書類を送っても受け取らずということでございます。従いまして会員者規定第14条第3項に従い、2名、除名手続きを行い、臨時総会にて議案として提出いたします。慎重ご審議宜しくお願いいたします。

【意見・対応】

なし。

【採決】

全員一致で可決。

(7) その他

なし。削除。

12. 協議事項

(1) その他

なし。削除。

13. 報告事項

(1) 2010年度(社)札幌青年会議所 十一月「臨時総会」2011年度議案について 大越専務予定者

資料に基づき説明。

(2) 2010年度(社)札幌青年会議所 創立60周年記念事業概要について

小澤副理事長

資料に基づき説明。

(3) 2010年度(社)札幌青年会議所 札幌の近未来を創造するための調査・研究・実践報告について

齊藤室長

資料に基づき説明。

玉腰理事長

こちらの報告書、委員会メンバーが頑張ってここまでのものを作りました。これを我々内部だけの資料に留めることなく、きちんとしたものになりたいと思っております。今後どのような形で世に出せるか、それは解りません。しかし、少なくとも次年度以降、ホームページ等でこのような調査研究をしてきたのだという事を、一人でも多くの皆様に見ていただける場を作ることが出来ればと思います。以上です。

(4) 2010年度(社)札幌青年会議所 委員会費決算実施について

白井常務理事

資料に基づき説明。

岡澤専務理事

例年、通帳を解約していない委員会が、残念ながらあります。こちらを徹底していただいて、あくまでも解約した通帳を当日持参ください。

(5) 新入会員入会承認について

小澤選考委員長

資料に基づき説明。

玉腰理事長

お手元のリスト、53名の仮入会者の方々が記載されております。こちらの全員の入会承認をいただきたいと思います。ご意見ご質問お願いいたします。

熱田理事

今年は柔軟にしていくということで、毎月審査をして来たと思いますが、私も会員拡大の委員長をさせていただいた時に、過去のものを見て、毎度毎度面倒臭いと思いながらも、最後に1枚だけ報告上程みたいなものがあると、いつに面接してこの時期に何人入ったというものがあると良いと思います。来年は事務局長お二人が議長、副議長ですから良いですが、その次の年、今年から新しくなりましたので、今後の会員拡大の方々に参考になるようにしていただきたいと思います。つけなければならないという訳ではありませんが、つけた方がより丁寧だと思います。

玉腰理事長

今回の資料は理事会提出資料というものではございませんでしたので、今後そのような形で次年度へ引き継いでいただき、内部資料ではなく、きちんと皆様に解っていただける資料を出していただきたいと思います。それではこちらのリストをご承認いただきたいと思います。

【採決】

満場一致で可決。

玉腰理事長

年初より、必ずやV字回復をというお話をさせていただいておりました。皆様のお陰をもちまして、2010年度があったから札幌青年会議所はV字回復をしたのだと言っていただけるような結果を残せたと思います。この結果を持って次年度へ引き継げる事が、私の最大の成果だと胸を張ってご報告することが出来ました。誠に有難うございました。このような結果を来年、再来年と、少なくとも50名を続けなければ、200名という大台に達することが出来ません。今後更なるご尽力を皆様をお願いすると共に、心より御礼申し上げ、皆様が私の中での誇りであるという事を付け加えさせていただきまして、一年のお礼に代えさせていただきます。有難うございました。

（６）その他

なし。削除。

14. その他

（１）今後のスケジュール

白井常務理事

資料に基づき説明。

（２）その他

なし。削除。

15. 監事講評

荒木監事

第11回理事会、お疲れ様でございました。前回理事会が済んだ後、熱田理事より無茶な振りがあったものですから、何を話そうかということが頭から飛んでおります。まず、専務理事より敢えて監事講評で記録に残るように、との事でございましたので、先にお話させていただきます。

除名者の案件について、今回、専務理事からの上程でありましたが、本来であれば会員審査特別委員長から上程すべきものであります。次年度以降、お気を付けいただきたいと思ひますし、理事者の皆様に置かれましても、是非、定款並びに諸規定の方を熟読していただき、理事会に臨んでいただきたいと思ひます。また、本日報告上程でしたが、理事者の方から活発なご意見が出ており、非常に良かったと思ひます。若干感じたのは、目的が何処にあるのかという点を、これは報告上程に限らず、事業計画の上程でも重要な点ですが、冒頭の正副予定セミナーの上程の際にも、伊澤理事からのご意見に対する答弁が噛み合っていなかった部分は、目的が何処にあつて、目的を達成する為に何が成されるべきであつたのかというところを意識して上程されていれば、もう少し噛み合った答弁になっていたと思ひます。また、十月例会の報告上程に関しましても、記載はされていましたが、最も重要な運営上の問題点、次年度への引継ぎ事項は（６）に記載されていたことだ

ろうという風に感じました。確かに、記載はされていましたが、もう少しそこに焦点を置いて、質疑があっても良かったのではないかなと思います。2011年度の総会案件を拝見させていただいた中でも、今年で卒業する私が口を出すべきで事では無いのですが、理事予定者会議においても審議を通してしまっているのも今更どうこう出来ないものではありますが、もう少し事業目的とそれを達成する為の事業内容というものが、本当にこの表現で良いのであろうか、精査が必要であったのでは無いかというものが見受けられたように感じます。これは決して文言がどうこうと申し上げているのではなく、また、理事会の場でも言葉遊びの様に感じられてしまうメンバーもいらっしゃるかも知れませんが、決してそうではなく、本当に上程する人間がその目的と、目的を達成する為に何が必要であるかということを、きちんと自分の中で整理がついているのかどうかという点が結果的にその文言に現れるということであると思っていますので、是非、本年度の理事会は残すところあと1回ではありますが、次年度以降の理事会におきましても、その目的達成のために必要な本質というものを見失わない上程をしていただきたいと思います。

先日の世界会議ではジャパンナイトまで向かうまでの時間を太田委員会にお邪魔させていただき、また、林委員会では私の拙い話を聞きたいということで講話をさせていただく機会をいただき、つくづく委員会というものは良いものだあと感じておりました。是非、事務局長、委員長の皆さん、残り少ない時間ではありますが、また、新入会員も次年度のスタッフ会議などにも出ており寂しい時期かも知れませんが、最後の最後まで事務局長、委員長として伝えなければいけないことを、メンバー、新入会員に伝えて委員会を謳歌していただきたいと思います。そのことを申し上げて、私の第11回監事講評とさせていただきます。ありがとうございました。

鈴木監事

荒木監事のお話はいつもの的を射て、すごく素敵な、また少し堅いお話でしたので、私のほうからは少し砕けたお話をさせていただきます。実は寂しいことがありました。当社の事務の女性が、青年会議所の方がお見えですと言うことで呼びに来たものですから、誰かと聞きなおすと、緑川さんという方ですと答えたもので、私のところに事務局長に就任したということでわざわざ挨拶に来てくださったと思いきや、そうではなく、来年当社の従業員が緑川事務局長予定者のところでお世話になるということでした。聞けば、12月1日が予定者会議ということで、関わった方々にお酒を出したいなと思っておったんですけれども、今日まで私のところに来年委員長になりました、事務局長を受けさせていただきましたと報告があったのは、海野君と村太君と田邊君だけということで、少し寂しい思いをしました。私はまだ現役でありますので、そのような情報は入ってきますが、OBの方々の中にはそういった報告を、自分のことのように喜んでくださる方々も沢山いらっしゃると思います。ここにいらっしゃる方は、事務局長・委員長を経験している方々でございますので、来年以降はそういった後輩には、OBの方々に報告するように伝えていただきたいと思います。

この組織に残る人達に伝えたいことで最近感じたことですが、確か藤井先輩が卒業するときであったかと思いますが、俺はこの組織で付いた垢は落として卒業するのだと言って、

ダイエットに励まれていたことがありました。その後も、藤井先輩はその体形をしっかりと維持されていますが、私もそのことが素敵だなと思い、今年いろいろとチャレンジしたわけではありますが、4キロ落ちても2キロ戻り等ということを繰り返して、結局元の体形を維持しております。何が言いたいかと申しますと、最近それではいけないと思い、毎日腹筋を1カ月以上行っております。そろそろ腹筋が割れてきたかなと、毎日自分のお腹を見るのですが、その様な様子は全く無く、挫けそうになるのですが、いや違う、きっと回数が足りないのだなとか、きっとこの脂肪の内側にはしっかりとした筋肉が宿っているのだなと想像しております。何かと言いますと、人には成果と報酬というものが大切であると。やる気、モチベーションを保ち続けるためには、その成果と報酬というものが本当に重要でございます。青年会議所の中では、報酬という部分で金銭的に絡むものはございませんが、よく先輩方が、お前の作ってくれた水割りが一番美味しかったよということを耳にすることがよくあります。これは青年会議所の中においても、皆様の会社においても全く同じことです。成果というものが金銭としてみるのに難しい事務の仕事の方々にも、ありがとうという言葉で、ますますやる気にあるのであれば、素晴らしいことであると思います。来年以降、事務局長、委員長を受けられる方にも、この様なことを伝えていただければと思ひまして、成果と報酬、これが人間のやる気の原動力だと申し上げまして、第11回理事会の私の監事講評に代えさせていただきます。本日はお疲れ様でございました。

16. 次回理事会開催の確認

平成22年12月20日18:30より

会場：札幌第一ホテル

17. 閉会

議事録署名人 熱田 直樹

議事録署名人 齊藤 大輔